

# 県退教協だより NO. 80

長崎県退職教職員等連絡協議会

長崎市筑後町二一 教育文化会館

☎〇九五―八二二―五一九五

## 長崎県退教協

### 第37回 定期総代会

6月23日、県教育文化会館にて定期総代会を開催しました。

開会に当たり、この一年間に逝去された会員の方々に黙祷を捧げ、「緑の山河」を高らかに斉唱し、開会を宣言しました。

議長団に、佐世保支部・濱田総代、吉岐支部・米倉総代を選出しました。

八木会長の挨拶に続き、県教組・堤典子中央執行委員長挨拶。続いて、来賓挨拶として、きたる、参院選挙(長崎選挙区)・長崎市民連合統一候補・西岡秀子さん(代理選対責任者)、高間連、矢島良一会長。日政連県議・坂本浩さん。県退女教会長、熊江雅子さん。(日政連長崎市長、池田章子さん、佐世保市長、早稲田矩子さん・激励のメッセージ)をいただきました。

議事に入り、業務・活動報告に続いて、経過報告では、

一、「戦争法」反対、安倍内閣退陣を求める取り組みについて、(1)集会・後援会や学習会への参加。(2)「戦争法廃止・二千万人統一署名」活動への参加・一人一枚五筆の集約で、二五七〇筆の集約でした。

二、反核・平和・脱原発、平和活動の取

り組みについては、退教協独自、日退教、県平和運動センター、県高間連等と連携し、九の日座り込み・沖繩「辺野古基金」取り組み・各集会への参加・署名と、活動をすすめました。

三、第二五回退教連合同学習会は、十一月二十一日、(演題「戦争法・沖繩」「原発」「アベノミクスとTPP」として、長崎市と大村市の二会場で、西澤清日退教会長の講演を聞き、政治情勢と進むべき道を学習しました。

四、2016年度 運動方針について「守ろう、私たちの生命(いのち)と生活(くらし)」と題し、「平和憲法崩壊の最大の危機」ととらえ、自・公安倍政権退陣のこれまでの市民運動と一体となった行動を更に強め、7月の第24回参議院選挙で自民党に勝利する闘いを組織を挙げて進めなければならぬ、としている。

五、本年度運動の中で、当面の要求として、①年金の改善 ②不公平税制の是正 ③介護保険制度の運用・改善 ④医療・保険・福祉制度の改善 ⑤エネルギー政策の転換(脱原発) ⑥マイナンバー制度(社会保障・税番号制)の再検討を挙げています。

具体的な運動を進めるためには、日退教・県教組・日教組をはじめ、高間連・長退連など、他退職者団体・現職・市民団体と連帯して取り組みます。

六、本年度事業計画・予算案、総代会スローガン・宣言案を全会一致で採択しました。終わりに、日教組の歌を高らかに斉唱し、八木会長の団結ガンパローで閉会しました。

「総代会スローガン」から

◎「安保関連法」を廃止させ、暴走安倍政権を退陣に追い込むため、組織一丸となって第24回参議院議員選挙に勝利しよう。

※(比例区・候補者推薦)

県退教協は、安倍の暴走を許さないという一点で、「あなたにや」(日教組・日退教日政連議員)を推薦し必勝を期す。

と、二月二十五日、第3回地域代表者会において、提案しました。

各支部の意見集約から、県退教協は、「各支部・個人の意見を尊重しながら、「あなたにや」を推薦し必勝を期す。但し、「支部の意思は、十分尊重し、選挙を戦い抜き、安倍の暴走を阻止しよう」と訴えました。

七月一〇日(日)第24回参議院議員選挙

投票開票日・結果

選挙区.. 民進党・西岡 秀子 二八五、七四三

※惜しくも、落選

比例区.. 民進党.. 当選.. 那谷屋 正義

.. 社民党.. 落選.. 吉田 忠智



で殺を容大ッ便  
 一こさすこ易きクせ用  
 字のれるのにさ・ん紙  
 ・九ること九取もボな  
 一条ともで組由ル。模  
 書きしりなく、戦この・用紙・  
 きてま後長が方鉛具・西  
 変えん。一人殺すことも、戦争  
 はならぬ思い

のて武発と第  
 國他前は力動す九戦  
 ののの項、のたる  
 交戦力目的には争平  
 権は、をこ、と和国民  
 は、これを放紛争に正  
 これるた棄争をよ希義  
 を保たすを解。決威し秩序  
 認めし、陸手。段とた権基  
 い。海空軍そ  
 し較権は迎  
 た。日本国憲法と自  
 の将來にとつて、重  
 大内容で

(一) 憲法九条の浄書

【活動報告】  
 工夫した活動  
 北松退女教 新見タカ

向大の様の  
 か皆き方、方友よ  
 い様く々小、人ろ  
 まの上、中サやし  
 し熱回快学！そく、  
 と、協、ル家お願  
 協三力いの族、い  
 九てい間商いた、  
 感百いろ、ごや、  
 謝六たな、集詠歌  
 し十だき、会歌の、  
 つつ羽。目の参会、  
 長崎に、者皆

迎え今年北松退  
 、「折ラシ内容、  
 をての活動、  
 鶴運員、  
 も絶、  
 二〇一五年は、  
 被爆七十周年の、  
 核

(二) 折り鶴運動

示 浄書したものは台紙にはり、会場に展  
 示しました。

原市上の5月3日、  
 街退教協の、  
 をて教員が  
 肅ま、員、  
 々す、員、  
 行。員が、  
 進現役参  
 し、役加  
 い組し、  
 ます。員、  
 と祭典を、  
 共、十、  
 島盛、

ま減い、深にやねちと  
 少した今年、花、  
 日1名、教、  
 教、  
 組、  
 と、  
 言、  
 葉、  
 も、  
 寂、  
 し、  
 組、  
 員、  
 だ、

《退教協：島南支部だより》

事 務 局 長 高 原 篤 志



ふたつめの曲は、AKB48が唄う「365日の紙飛行機」。作詞者は、秋元康。

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで飛んで行くよ。

風の中を力の限り ただ進むだけ その距離を競うより どう飛んだかどこを飛んだのか それが一番大切なんだ さあ心のままに 365日

AKB48という若い歌手の存在は、テレビなどで知ってはいたが、ただ彼らの脚を見るだけで、その曲などには無関心だった。しかし、この曲の作詞者が阿久悠だと勘違いしたのが、今回の失敗のはじまりだった。

阿久悠は私の大好きな作詞家だ。

私は、惚れっぽい人間で、中身はよく調べもせずに買ってしまい、長い人生でいろいろ失敗もしてきた。テレビで聴いて曲に惚れ、レコード店に行つて、すぐに購入した。ところが、作詞者が阿久悠ではなかった。80歳の老人がAKB48を買うのが恥ずかしかったので、「知恵おくれの子供がAKB48の大ファンでね・・・」と若い女子店員に言い訳をした。

事実、48歳になるダウン症の息子は、歌を聴いたり唄ったりするのが大好きだ。テープやCDも多数持っている。

小さな失敗ではあったが、私はこの曲に元気をもらつた。空の上で阿久悠さんが笑っているだろう。

日本はダメだ

明治44年(1911年)1月18日、大逆事件の裁判の判決(幸徳秋水ら24名に死刑、他の二人に11年、8年の刑)を知った石川啄木は、日記に次のように書いています。

「今日程予の頭の興奮してゐた日はなかつた。二人だけ生きる、二人だけ生きる、あとは皆死刑だ、ああ二十四人! さういふ声が耳に入った。中略く帰つて話をしたら、母の目に涙があつた。『日本はダメだ。』そんなことを漠然と考へながら丸谷君を訪ねて十時頃まで話した。夕刊の一新聞には幸徳が法廷で微笑した顔を『悪魔の顔』と書いてあつた。」この時、幸徳は40歳、啄木が26歳だった。

夏目漱石も新聞の連載小説「それから」の中で、明治42年の幸徳らに対する当局の弾圧について、「日本国じゆうどこを見渡したつて、輝いている断面は一寸四方も無いじゃないか。ここごとく暗黒だ」と書いています。

2016年7月の参議院議員選挙の結果は与党の大勝利という憂うべき事態。啄木の時代と比べると現代はその何倍も明るく平和になつています。しかし、為政者は啄木の時代のように粗暴で強引ではないが、反面巧妙で緻密に計画的だ。今や戦中戦後の苦難を知らぬ若い世代の中には、戦争をさえ肯定する者が増えつつあるという。「日本はダメだ」と、今日の国の実情を憂える人が果たしてどのくらいいるだろうか。わが子や孫に兵役の召集令状が来るまで、危機に気づかぬ

のではないか。  
こんな詩を作つた。

### 夢

こんな夢を見た 無数の羊の群れがやけに威勢のいい一頭に率いられて大草原を黙々と進んでいる。

右手は断崖、左手も断崖、正面には火の手があがつている。

羊たちは下ばかり見ているからそれが見えない。

その直前まで進んで、やっと気づく空の上から啄木が「日本は、まだダメだ」と嘆いているだろう。

### 編集後記

◆連日の猛暑。おかわりありませんか。「退教協だより八〇号」をお届けします。



◆AKB・文章の一部に、原文(石川啄木の日記)を尊重して、旧仮名づかいで記述した文字があります。